2020 12. vol.58

社会福祉法人

愛媛いのちの電話

1985年電話相談を開始し36年目を迎えました

ニシオジロビタキ　　写真提供：石川　清治 氏

ひとりぼっちで悩まないで……

CONTENTS

・35周年記念特集
・応援しています「いのちの電話」
・新居浜で相談員養成講座開講
・「老い」　大久保雅代

相談電話 **089−958−1111**
毎日 ： 昼12時 ～ 夜12時

インターネット相談
http://www.e-inochi.jp/
「インターネット相談」はこちらへ をクリック

「愛媛いのちの電話」開局35周年を迎えて

社会福祉法人愛媛いのちの電話
理事長　武井　義定

今年で「愛媛いのちの電話」が開局35周年を迎えることができましたのは、なによりも相談員の皆様の日々の地道な活動と努力であり、また私どもの活動を温かく受け入れてくださり、支えてくださっている後援会の皆様のお蔭です。改めて感謝を申し上げます。

日々、電話ブースで相談を受けていると、「死にたい」と訴える相談があります。日本語の「死」は英語ではDeathとDyingの二つの言葉で区別されています。私達が死を体験すると言うときには、前者の死んでいる「死」であり、動かない死ですから、怖そうに見えますが本当のところは怖くはありません。今は「死」を看取る機会が少なくなり、後者について考え、死んでいく人との関係を体験する機会はまれです。自殺を念慮している人は、Dyingに直面している人であり、「死」に直面した人と相談員は接することになります。自殺は人間が生きる中に起こる「生きている死」であると言えます。自らを飲み込もうとしている死と直面しているコーラー（電話で相談してきた人）と正面から向き合うのは難しいことです。私達は肉体や精神のバランスを失い、いま生きている自分が本当に分からなくなり、苦難と危機に瀕するときがあります。しかし、見方を変えれば、それは一回しかない人生の中で起こる「死に物狂い」になる大切なときでもあります。この苦しみの体験こそが、その人の新しい人生を切り開いていく大切な時なのだろうと思います。相談員は生身の中に「死」を抱えた人間ですから、緊張もしますし、揺さぶられ、うろたえます。それでも、コーラーに対して、話を聴くこの私もいつかは死に追い込まれるような危機にさらされる人間であるという同じ立場の者として、コーラーの話を聴き、「絆」をつくることに徹する営みの重要な役割を担っているのが電話相談です 。

今後とも「愛媛いのちの電話」の相談活動の継続とご支援をよろしくお願いします。

35年のあゆみ

1985　愛媛いのちの電話開局

1995　開局10周年

2001　厚生労働省自殺防止対策事業全国一斉フリーダイヤルに参加

2004　社会福祉法人愛媛いのちの電話設立

2005　開局20周年

2006　第24回いのちの電話全国研修会　愛媛大会開催
後援会発足、シンボルマーク決定

2009　ホームページ開設

2011　震災ダイヤルに参加、新居浜分室開設

2013　インターネット相談開始

2015　開局30周年

2019　南予分室開設、連盟ナビダイヤルに参加

2020　開局35周年

相談活動を表す「電話」心のつながりを表す「ハート」心をいやす県花「みかんの花」の３つで出来ています。

累計受信件数　310,992件（2020.9.30まで）
相談受付時間　毎日12時～24時

35周年記念特集

応援しています！いのちの電話

後援会会長　株式会社伊予銀行相談役
森田　浩治

「愛媛いのちの電話」が開局35周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。民間のボランティア団体が、長きに亘って立派な活動を続けておられますことは、ひとえにボランティア相談員を始めとする皆様方の並々ならぬご尽力の賜物であり、改めまして心からの敬意を表したいと思います。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会全体が今までにない試練を受けることとなりました。「愛媛いのちの電話」でも様々な困難を強いられたこととお察ししますが、緊急事態宣言中、養成講座や研修は休止をされたものの電話相談事業は休むことなく続けておられたとのこと、このボランティアに懸ける皆様のお気持ちの深さに打たれます。

さて、厚生労働省によると日本の自殺者数はここ10年間減少を続け、昭和53年からの統計で令和元年は過去最少（約2万人）となっています。しかしコロナ禍の影響は大きく、先の見えない不安等から自殺願望を持つ人が増えるのではないかと懸念され、実際にここ数か月は増加の傾向が見られるようです。また自殺報道の影響も心配され、その度に「いのちの電話」の番号がテレビで取り上げられていました。今後「いのちの電話」の社会的役割はますます大きくなっていくに違いありません。

私ども愛媛いのちの電話後援会といたしましても、改めていのちの電話相談事業の役割の重大さをしっかりと認識し、ボランティア相談員を始めとする関係者の皆様の尊い活動に少しでもお役に立てますよう、微力を尽くしてまいりたいと思いますので、今後一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

後援会副会長　愛媛県生活協同組合連合会顧問
立川　百恵

2020年版自殺対策白書が厚生労働省でまとめられました。それによると19年度の自殺者は20,169人で前年より減り、10年連続で減少しているとのこと。これは、「いのちの電話」をはじめとする様々なサポートの成果と、嬉しく思います。しかし、今年はコロナ禍という経験のない事態が社会を覆いました。ステイホームと、人との交わりを禁じる勧告の中、家に閉じ込められた家族間での問題がクローズアップされています。また、緊急事態宣言の中、仕事を奪われた人が６万人を超えていると、報じられました。こうした中で、日常を奪われた人々の悲鳴が聞こえてきます。大切な活動です。これからもこの電話相談が、より多くの人々のさらなる命綱となるよう頑張って行きましょう。

後援会副会長　弁護士
谷　直樹

弁護士として仕事をしていく中で、借金問題をはじめ様々な悩みを抱えている方のお手伝いをさせていただく機会があります。しかし、今この時点で心の危機に直面しているという方に私が接する機会はほとんどありません。

そんな今まさに心の危機に直面している方から繋がる一本の電話に、「心の支えとなりたい」と願うのが、『いのちの電話』の活動です。この活動を支えてくださる皆様に感謝したいと思います。

35 周年記念 相談員のひとこと

～人の話を聴くのは嫌いじゃない。誰かのためになるならお手伝いしてみたい～興味はあるものの実際に申し込む自信はなくハードルは高かった。そんな私の背中をポンと押してくれる偶然のおかげでボランティアが始まった。一年弱の養成期間を経て受話器を取っている。『案ずるより産むが易し』の通り、先輩同輩に助けられながら、一期一会の出会いに感謝の気持ちを忘れないよう心がけている。

仕事をしながら活動に参加しています。なかなか時間が割けず申し訳なく思いますが、継続させていただけることにとても感謝しています。胸の内を言葉にしてもらいただ聴く……。そうすることで日々の閉塞感や孤独感から少しでも解放されるなら。それが電話の前であっても職場でもどこに居ても出来るようになれば、打ち明けてもらえるようになれればと、活動できない時間も肝に銘じ過ごしています。相談活動に携わり学んだことです。

いのちの電話の活動を通して思うことは、大きなものから些細なものまでたくさんあります。人はどんな状況にあっても、人と繋がりたいのだなあと感じます。空気を読むとかコミュニケーション能力が必要とか言われる社会の中で生き辛く感じている人が繋がれるのが、いのちの電話なのかなと思います。

いのちの電話35周年おめでとうございます。長い年月この活動が続いてきたこと、諸先輩、又現在活動している相談員の皆様と共に喜びたいと思います。このコロナの時でさえ電話をとり続けている仲間のことを誇りに感じています。相談者との出会いは一期一会。緊張しながら毎回電話をとります。その出会いは私の人生に、沢山のことを教えてくれました。この20年間、共に歩んでくださり支えてくださった方々に感謝します。

インターネット相談を担当させてもらっている。頭の回転が鈍い私には、自分のペースで何度も読み込みながら書けるので性に合っている。担当の３時間はまさに真剣勝負。持てる知力を尽くして１つの相談文に向き合う。仲間や先生からきめ細やかなアドバイスを頂き一字一句にまで心血を注ぐ。「何度も何度も読み返しています」継続相談者からのメールに、あらためて言葉の力を感じ心が引き締まる思いがしている。ここは私の学びの場♪

愛媛いのちの電話が開局して、今年で35年目を迎えた事。その月日がどれだけの重さなのかを考えたら、いろんな人の涙の数で、七つの海が出来るように思えます。その涙の数を知ることにより、自分自身の心の中に何かが生まれてゆく様に感じます。多分それは海の様に深くて広い、慈愛という心の海が、ゆっくりと波打ちながら育っているのだろうと思います。

活動に対する思いを問われれば私は「自分を磨く修行」と答える。最近の電話から、苦しい苦しい思いをされている方からの電話にただじっと聴かせて頂いた。この方、あったことは話されようとしなかった。話したくなかったのだと思う。それでいい。受話器を置いた後、不思議と繋がった感があった。どんな電話でもまずは受け入れたい。先日観た映画の中での言葉から「泣いている人がいたら、そっと抱きしめてあげてね」と。癌に侵され余命宣告された若い母親が小さな娘に言い聞かせたことば。そう。言葉は要らない。抱きしめる気持ちがあればと思う。

第20期生です。20年間電話をとったことになります。年を追うごとに自分が変わった感じがします。気負いが無くなりました。全国、どこの方とも話ができるようになりました。但し、いい会話が出来たかと言われれば、それは問題です。聞き役に徹しなければと思いながら、つい切り込んでかけ手の方を傷つけたこともあります。沈黙の時間は寄り添う大切な時間。私も高齢になりましたが、あとしばらく、取らせてください。

「誰にも言えない、こんな話を聞いてくれてありがとう」というかけ手に対して、抱え込んでいる荷物を少しでも軽くできればと思いながら電話を受けてはいますが、実際には、言葉が足りなかったり、多すぎたり、はたまた脱線していたりすることが、なんと多いことでしょう。そんな中で、月一回の継続研修は、反省と学びの貴重な時間です。ゆっくりと適切な言葉を選ぼうとする習慣を身につけなければ、といつも反省しています。

私は平成14年に愛媛新聞に掲載されていた「愛媛いのちの電話相談員募集」の記事と出会い22期生として認定を受け相談員として活動を始めました。今日まで相談者さんの声と出会い、対話を通じて共有することで自分と向き合い、人生の挫折感や消耗感に侵され壁にぶち当たるときも自分は何を成すべきか、気づき乗り越えていくことを教えてもらっています。相談者さんとの対話で大切にしていることは、話を聴きながら相談者さんが抱えている悩み等から自分自身を知り、一言一言が大きく相談者さんの心に影響していることを念頭に置くことも重要だと自覚しています。これからも相談員としての使命感と自分の生き方を教えてもらえる出会いと自覚し活動を続けていきます。

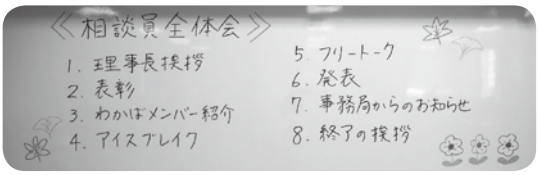
新型コロナウイルス禍の今年、暮らし方や人との距離について話題になりました。また、自殺報道の度に「いのちの電話」の情報が流されました。ひっそりと在ったはずの「いのちの電話」が表舞台に引っ張り出されたようで、面映ゆいというより居心地の悪さを感じたりもしました。何があっても、変わらず淡々と、私達の役割を果たしていきたい、電話で人と繋がることの確かさを信じ受話器を取り続けたいと思うこの頃です。

相談電話で、精神科へ通院しているがうつ病が全くよくならない女性とのやり取りで、あなたの対応は悪いと、おもいっきり叱られました。その後、私も言い過ぎましたと謝りました。この大失敗を肝に銘じて電話を受けるようになってからは、かけ手からお礼を言われる機会が多くなりました。相談電話に入る前は『初心忘るべからず』が習慣となりました。かけ手からも教わる気持ちになると、精神的に楽になると気づいた貴重な機会でした。

コロナ禍で世の中が一変し「いのちの電話」の必要性が一層見直される社会となっています。「いのちの電話」に関わって30年を超えました。今まで続くと、共に生きたという実感です。これからも、それなりのペースで関わらせて頂こうと思っています。一寸、変わり者の私にとっては、電話を受け続け、研修を受け続けて良かったと思う今日この頃です。誰かと繋がりたいのは、私だったのです。

何年経っても、電話を切った後で、あれでよかったと思えることは少ない。電話を掛けてくる人も、その内容もさまざまで、それぞれ違っている。乏しい想像力を目いっぱい働かせ耳を傾けるが、その対応の仕方が、かけ手の気持ちに寄り添えたかどうかは分からない。でも少なくとも、「かけ手と共にいる、寄り添っている」という気持ちは伝わっていると信じたい。

これからも先生や皆さんに教えていただきながら、より良く聴けるように努めていきたい。



子育ても介護も自分がやらなければ誰もやってはくれないとひとりで抱え込んでいた頃に、「いのちの電話」に出会い、気づけば９年目。人に頼ることや話を聞いてもらうことのメリット、優しい人は確かにここにいると実感する。「聴く」を学ぶことが人を変えていくのかもしれない。かけ手のためでもあり、自分のためにもなくてはならない「いのちの電話」である。優しい人たちと心をつないで、もうしばらく歩んで行きたい。

電話相談で色々なお話を伺う中で「聴く難しさ」を当番に入る度感じますが、「慌てず・焦らず・ゆっくりと・謙虚に」の姿勢を持ち、何とか実践しています。そして、「自己研鑽」と「自己覚知」を意識しつつ、活動に関わる皆さんに教えて頂きながら、これから先も少しでも成長していきたいと思っています。

私自身が社会と繋がっていたいとの思いもあり続けてきました。何の専門家でもありませんが、掛かってきた電話を取り、その方の話に耳を傾け、相槌を打ち、そうだねと受け止める。『良き隣人』を目指してというと照れますが、隣のおばちゃんを目指して頑張りたいと思います。絶望の淵にいく前の、あれやこれやを聴くこともここの大事な役割なんだよと教わりました。

今年はコロナの影響で不要不急の外出自粛や三密を避けることが提唱され、手洗いやマスク着用は日常的なこととなり、ソーシャルディスタンスに気をつけて暮らしています。電話の向こうから聞こえてくるのは人間関係の大変さ、孤独感や閉塞感を吐露する声。お互いに少しでも理解し合えた時はほっとします。10年先はどうしているかしら。無理せずできる範囲で細く長く続けていこう、相談室の電話は今日も鳴り続いています。

コロナの影響がここまで長引くとは思ってもいなかった。先行きの見えない日々に、誰しもが漠然とした不安を抱え感情の吐き出し先を求めているように感じる。人との直接的な関わりが控えられているこのご時世で、心置きなく繋がれる『電話』というツールは心強いと再認識した。耳元で聴く肉声には感情があり温度を感じることができる。直接は会えないけど気持ちの納まりの手助けになればと思いつつ今夜も電話にむかっている。

会社勤めを終えて、あとの人生をどう生きるかという時に「いのちの電話」の養成講座を受講し相談員となりました。相談員としては、私の話でも共感してくれるという感動、あるいは全く対話ができないという失望等、いろんな経験をすることができました。人生の終末期にこういう形で社会と繋がっている自分を、自分で認めることができ本当に有難く思っています。それと共に活動をする仲間を得たことも天からの贈物です。

いのちの電話に関わって５年ほどになります。新聞で活動の存在を知りました。その半年ほど前に母が亡くなり、私自身も病気をした経験から人生について考えていた頃です。記事を読んで相談員になりたいとの思いが芽生え、それは久しぶりに感じた前向きな気持ちでした。その小さな思いから道筋ができ自分の人生を歩み出せたように感じています。私にとって大きな５年でした。いのちの電話に出会えたことを嬉しく思います。

人は確かに十人十色で、多様であると思います。人の心は複雑で感情には波があり、思いは変化します。電話の声だけで本音を読み取ることの難しさを感じます。けれど何例かに一例私らしさを発揮出来る出会いを与えられた時は、私も誰かの役に立っていると思えて心から感謝します。

皆で支えているこの活動、決して気負わずに一回一回を大切にして、次の出会いにつなげていきたいと思っています。

2021年1月開講！

第40期　相談員養

電話相談ボランティアはリレーマラソンのようなもの
自分の走力に合わせて　走れる分だけ走る
仲間と走るから　続けられる
一緒に活動してみませんか

**あなたの力を
待っています。**

講師紹介

武井　義定
社会福祉法人
愛媛いのちの電話
理事長
勝山幼稚園園長
臨床心理士

ボランティア精神と相談活動
人はなぜ自殺するのか
宿泊研修〈感受性の訓練〉

青野　篤子
福山大学名誉教授

心のふれあい体験
現代のライフサイクル論
性・ＤＶ・ハラスメントを巡る問題

石川　良子
松山大学人文学部
社会学科教授

人の話を聴くこと・分かること
「ひきこもり」のフィールドワークから考える

大久保雅代
愛媛県スクール
カウンセラー
臨床心理士

自殺予防の現状といのちの電話の意義
傾聴訓練Ⅱ〈傾聴技法〉
電話相談演習Ⅲ〈発達障がい〉

越智　眞理
眞理こころのクリニック院長
精神科医

こころを病む人
Ⅰ〈うつ・統合失調症〉
Ⅱ〈神経症・境界性人格障害〉

梶原　万裕
精神科心療内科
臨床心理士

傾聴訓練Ⅲ
〈受容と共感について〉
〈発達障がいについて〉
電話相談演習Ⅳ
〈頻回通話者〉

川本こずえ
精神科心療内科
臨床心理士

電話相談演習Ⅱ
〈危機介入〉

横田　和子
愛媛大学
非常勤講師
臨床心理士

傾聴訓練Ⅰ〈体験学習とは〉
電話相談演習Ⅰ
〈こころを病む人への対応〉

成講座を開講します

研修サポーターの声

扉を開けて

養成講座はとても熱い場だと思います。受講生のみなさんの真剣な眼差しに出会う度に、自分の受講生時代を懐かしく思い出します。心に注目する対応に最初は戸惑うことでしょう。でも、それこそが自分の心を開け、相手を理解する鍵だと思います。さあ、見知らぬ世界に足を踏み入れてみましょう。電話でつながった相手が忘れられない人となり、共に学ぶ仲間はかけがえのない人となるでしょう。みなさんのご参加をお待ちしています。

安心してくださいね

応募動機は人それぞれです。皆さん期待と不安の中で参加されます。私もそうでした。取り敢えず受けてみようかと始まりました。そしてサポーターさんの温かい笑顔、何を話しても全てを優しく包み込むように受け止めてくださり、心地よい中で学習しました。また、初めは顔も名前も知らない方々と、最後は励ましあいながら相談員になれました。

これからも受講生さんと共に笑い、悩み、成長したいと思います。

どうぞ安心してくださいね。

一緒に作る場です

相談員養成講座にスタッフとして参加しています。

その際、私自身が講座を受講した時に感じたこと（疑問に思ったことだったり、不安、感激したこと……）を思い返すようにしています。

受講生の皆さんには、疑問や不安に思ったことを、私たちにその都度聞いて欲しいなと思っています。気軽にお声をかけていただけると嬉しいです。

毎回の養成講座は、私にとっての学び直しの場にもなっていると感じています。

新しい受講生の皆さんとご一緒できるのを楽しみにしています。

相談員になるには

12月 作文・面接申し込み ▶ 1月～7月 宿泊研修 養成講座 ▶ 8月～2月 実習 ▶ 3月 認定 ▶ 相談員として活動開始

第40期　募集概要（愛媛県地域自殺対策強化事業）

研修期間	講座　2021年１月～2021年７月（全20回）　月２回程度　土曜日または日曜日 実習　2021年８月～2022年２月（随時）
会　　場	新居浜市総合福祉センター　（新居浜市高木町２番60号）
受 講 料	30,000円　別途参考書代1,500円程度　宿泊研修15,000円
申込締切	2020年12月18日（金）必着

問い合わせ
社会福祉法人愛媛いのちの電話事務局
電 話 ▸089-958-2000（月～金10時～ 16時）　mail ▸ehime-1111@inochi.jp
HP ▸http://www.e-inochi.jp/

『老い』

社会福祉法人愛媛いのちの電話
研修委員　大久保雅代

年をとるとみんな障害者になるという。私も「老い」が他人事でなくなって、日常に不便を感じることが増えてきた。文字が見えにくい。小さな声が聞こえにくい。人や物の名前が覚えられない、思い出せない。メモした手帳が手放せない。パソコンもスマホも使いこなせず、何かトラブルがあると娘の手を煩わすことになる。

何か救いはないかと、遠藤周作の『生き上手　死に上手』を読んでみた。

「老いるということは人生の寂しさを噛みしめることができるようになること」だという。亡き父の口癖が「済んだことを言うてもしょうがない」だったことを思い出した。子どもの頃は父の言い訳のように感じていたが、今になるとその「済んだこと」の中にどれだけの辛い体験がしまわれていたのだろうと思う。

情報量が多いせいか、今の若者は（こういう言葉が老いの兆候だというが）特に、見た目や目先のことにとらわれ、必要以上に失敗を恐れすぎている気がする。「病気をしたり受験に失敗するといった生活上の挫折は、人生という観点で見ると何一つ無駄ではなく、どんなことでも深い意味と価値があった」という言葉に納得できるのも、自分が年齢を重ねたからかもしれない。

「年をとるということは、たんに老いて死を迎えるということを意味するのではない。それは生命の暗い谷間を降りていくことなのではなく、むしろカミの世界へとしだいに近づいていくこと、すなわち至福の山頂へと昇っていく、緩やかな道行きを意味していた」（山折哲雄）のだという。

小さなもの、虫や植物の中にも宇宙の大生命が宿っているという考えがあるが、年をとることで、ある種の感覚が研ぎ澄まされ、自然のかすかな変化に感動を覚えるようになるという。

「老い」も悪くはない。世の中の流れに遅れまいと汲々としなくてもよいかと思えた。マイナスの中にプラスを見つけ、小さな花や虫をいとおしみ、「深さ」を身につけた老人になりたいものである。

令和2年度愛媛県「三浦保」愛基金社会福祉分野公募事業の一環で行われました

映画上映会「しゃぼん玉」

10月10日（土）
新居浜市市民文化センターにて
「愛媛いのちの電話」広報活動の１つとして上映会を開催いたしました

新型コロナウイルス感染症の影響で、様々なイベント開催が難しい中、上映会には多数のご来場を頂きました。皆さまには入場時の検温、マスク着用、途中休憩を入れての換気、座席の指定等にご協力頂き楽しんでもらいました。

「しゃぼん玉」は俳優市原悦子さんの最後の主演映画作品です。来場者からは「優しくて温かい映画でした」「感動の連続で涙が止まりませんでした」等の感想を頂きました。これからも私たちの活動に関心を持って頂けたら嬉しく思います。（スタッフ一同）

ある日の電話から

「……急に仕事を辞めてくれと言われて、どうしたらいいですか」と切羽詰まった若い女性の声が流れる。思わず相談者の戸惑いに巻き込まれそうになる。先ずは落ち着いて、冷静にと自分に言い聞かせながら「もう少し詳しくお話できますか」と聞いてみる。すると「あっ！」と気がついた様子で話し出された。「私は今、半年の契約で仕事をしているけれど、上司から仕事がきちんとできているから、契約期間を延長して仕事をしてもらうつもりだと言ってもらって、張り切って頑張っていました。ところが、昨日コロナで仕事が減ったから延長はできないと言われました。コロナだから仕方ないけど、生活も安定してきたので、このままいけると喜んでいたのに。やっと自分に合った仕事に就けたと思ってやる気も起きたし、自信もついてきたところだったのに。これからどうしたらいいか……」

「コロナだから仕方がないと思っているのですね」「はい。だって仕事が減ったのだから仕方ない。でも……このままでは来月からの生活にも困ってしまう」と言う。雇い止めになってしまい、途方に暮れている様子が伝わってくる。「この仕事のおかげで今は、どんな仕事でもできると思う。どこで仕事を探せばよいのでしょうか？」と半泣きで答えを求められた。「まずはハローワークで相談されてみてはどうでしょうか」と話してみる。

「そうですか。ハローワーク……。すぐに見つかるでしょうか。でも行ってみます」前向きな言葉で電話は終わった。ご自分のハンディにもめげずに努力されている相談者に幸多かれと願いながら受話器を置いた。

※内容は実際の相談を基に構成し直したものです。

提供　春藤　伸一氏

感謝　あたたかいご支援ありがとうございます

2020年５月１日～2020年10月31日までに、次の方々から社会福祉法人愛媛いのちの電話への寄付または愛媛いのちの電話後援会への会費としてご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。（五十音順・敬称略）

個　人

秋川　裕惠	足立　純一	池川　道和	池田エツ子	勇　　文夫	石川　和史	石丸かほる
石丸　裕司	一ノ宮孝司	井野　惠子	井上喜美子	井上美奈子	今井久美子	印南　敏彦
上岡　桂子	上杉みどり	内山　　創	大久保雅代	大久保嚴彦	太田　純二	大政かつよ	岡野　鏡子
奥村　武久	小倉　　正	越智眞理子	越智　通晴	越智　慶子	恩地　森一	加藤　泰三	川端紀美代
川本こずえ	木綱　俊三	木村すみれ	木元　裕子	国久　清司	久保木道子	クリタカズキ	栗田　芳樹
桑田佳代子	桑田　敬子	河野　　浩	五領田眞理子	近藤　　猛	佐伯　真穂	佐藤　靖雄	重松　章子
清水　正子	白石麻奈美	鈴木　公生	須山　　楓	関家　徳美	田井野　勝	髙田　洋子	高野　順子
高橋　景子	髙橋　裕子	武井　義定	竹下　裕子	武田　行雄	竹中真由美	竹野　皆江	竹本　仁弘
橘　　幹太	立川　百恵	田中　美枝	谷　　直樹	谷本　　治	谷本　照美	田村由美子	壷内のり子
鶴井　善子	戸梶　元斎	戸田　佳乃	富永　和子	永井　和美	中島真智子	中矢　吉男	中山　　淳
灘野　成人	西岡美矢子	西川ゆかり	西澤　孝一	西田　明子	西田　裕子	西原　　透	西原　康雄
西本　　瞳	二宮　孝夫	橋本　清光	橋本　眞行	畑中企仁子	羽藤八五子	浜崎　友二	林　　浩美
林　万有美	伴野　佐和	日野　智仁	兵頭　早苗	廣瀬　一郎	深川　郁代	福岡　幸子	福原　千佳
藤田　和子	星加　　修	牧　　昌司	松浦　惠一	松崎　純子	松之本慶子	松村　　茂	真鍋喜代美
村瀬　宏之	水野　　剛	光田　厚夫	宮崎　修一	三好　洋子	村上　一美	村上　弘子	村角千代子
村松　つね	本　　裕美	森岡　仁子	森貞みつな	森田　浩治	森山　弘子	薬師神寛司	安田富久子
山本千延子	山本　照子	弓達ますみ	横山　真一	吉川　智子	好永　　定	吉野内久仁子	渡邉　泰子
渡部　裕子	渡部　三郎						匿名22名

団　体

伊予トータルサービス株式会社
医療法人今村循環器科内科
医療法人勤有会きら病院
医療法人佑心会堀江病院
愛媛県信用農業協同組合連合会
愛媛綜合警備保障株式会社
愛媛パッケージ株式会社
株式会社アイビ広告
株式会社伊予鉄グループ
株式会社カネシロ
株式会社野間工務店
株式会社松山建装社
桑原運輸株式会社
国際ソロプチミスト松山
四国溶材株式会社
タカウチスタジオ有限会社
松山金亀ライオンズクラブ
山中造船株式会社
ロッキー産業株式会社
東汽船株式会社
一般財団法人創精会松山記念病院
伊予木材株式会社
医療法人かざはやクリニック
医療法人静心会平成病院
医療法人隣善会西条道前病院
愛媛県繊維染色工業組合
愛媛建物株式会社
愛媛林産商事株式会社
株式会社伊予銀行
株式会社エム・ワイ・ティ
株式会社関西建物
株式会社ヒカリ
株式会社ヤマキ建設
公益財団法人正光会宇和島病院
㈶新居浜精神衛生研究所付属豊岡台病院
四国労働金庫愛媛支店
日東石材工業株式会社
松山中央ライオンズクラブ
有限会社大和屋本店旅館
安藤工業株式会社
伊予興業株式会社
医療法人秋田会秋田病院
医療法人かとう歯科医院ディサービスセンターきらり
医療法人眞理こころのクリニック
愛媛県歯科医師会
愛媛信用金庫
愛媛地方労働組合連合会
おりひめ友禅株式会社
株式会社伊予産業
株式会社門屋組
株式会社松栄印刷所
株式会社母恵夢本舗
株式会社よんやく
公益財団法人松山済美会
四国建設機械販売株式会社
大一ガス株式会社
伯方造船株式会社
村瀬海運株式会社
ルナ物産株式会社
匿名１団体

商品提供

イオンリテール株式会社　　マックスバリュ西日本株式会社

編集後記

編集作業にたずさわり始めて６年目。段々慣れてきて、半年毎の編集計画も型が出来てきました。お互いの意見を否定せず聞き、全員の思いを集め、一時（いっとき）より編集がスムーズに行われるようになってきました。知ることは理解を生み、和を育むと知りました。

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

発　行　社会福祉法人　愛媛いのちの電話
発行者　武井義定
編　集　広報委員会
事務局　〒790－8691
日本郵便株式会社
松山中央郵便局私書箱 158 号
TEL（089）958－2000
FAX（089）958－2014
http://www.e-inochi.jp/